

大和郡山 防災ニュース 元. 8月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

～第14回～

安全安心の城下まちづくり市民大会

10月18日(金)午後1:30

今年は防災講演会!

DMG MORIやまと郡山城ホール小ホールで開催!

第14回「安全安心の城下まちづくり市民大会」今年は講師に、
兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科長・教授の

室崎 益輝 (むろさき よしてる) 先生 をお招きして、

「自主防災組織と地域コミュニティ」について、お話をいただきます。

室崎先生は、防災では、助ける人、助けられる人、という関係でなく、気がついたら、住民みんなが助かっていた、という地域の状況が望ましい、と言われます。

また、先生は我が国における地区防災計画の第一人者で、阪神淡路大震災の経験から、大災害では行政による「公助」だけではどうにもならず、「自助」と「共助」、

とりわけ、地域による「共助」が大切で、住民自らが中心になって、地域の状況に応じた避難所の運営などいざ災害時の活動を検討して、その結果できあがったものを、“行政の制度の中に位置付ける”

「地区防災計画」が必要であるとおっしゃいます。

室崎先生のお話は、地域の防災のみならず、今後の地域コミュニティ活動にも参考になるかと思えます。

大会は、どなたでも参加でき、入場無料・申込不要です。

当日、先着300名様に粗品を差し上げます。ぜひこの機会に、地域の防災について考えてまいりましょう。



今年も台風や豪雨が相次いでいます……

昨夏は災害が相次ぎましたが、今年も既に2回(7月3日大雨警報、7月25日豪雨による地蔵院川水位上昇)避難準備情報・高齢者避難開始情

報を発令し、避難所を開設しています。

また、8月15日深夜から16日未明にかけての台風10号の接近の際も台風が既に日本海に抜けた後、午前3時40分に秋篠川の水位が避難判断水位の2.1mを越えましたが、すぐに水位が下がり始め、事なきを得ました。

8月19日の夕方には、短時間の豪雨で近鉄線の高架下道路が浸水し、乗用車1台が水没したほか、市内各所で路上冠水が発生し、治道地区では460戸が短時間停電しました。

また、地蔵院川の水位が一時、氾濫危険水位の2.2mを越え、2.30mまで上がったため、市からは、ホームページや登録制の市民安全メールを通じて、屋内における「垂直避難」の実行を呼びかけました。

これから、9、10月にかけては、台風が日本列島に接近しやすい時期になります。今後もテレビ等の防災情報や市から発令する避難情報に御注意をお願いします。



～防災一口メモ(7)～ 台風に備え、事前の準備を！

昨年は、台風の強い風による自宅や所有物の損壊のみならず、飛散した建物部材や物品により、周囲の土地建物にこれらが散乱し、また建物や物品に当たって破損を招き、さらに周囲の住民がその破片に当たってケガをする事故まで発生しました。このような被害は、日頃の確認と修理などの対策によって、その被害を最小限に抑えることができます。

【備えの一例】

- ①窓ガラスのひび割れ、がたつきはないか？また飛来物に備え外側を板で塞いでおく
- ②雨どいに落ち葉や土砂が詰まっていないか？継ぎ目の外れや塗料の剥がれ、腐りはないか？
- ③雨戸にがたつきやゆるみはないか？
- ④屋根瓦に、ひびや割れ、はがれはないか？落ちかけていないか？
- ⑤トタン板のめくれやはがれなど、ないか？
- ⑥鉢植えや物干し竿などは、屋内に入れておきましょう。
- ⑦周囲の側溝のゴミや泥を取り除き、水はけを良くしましょう。
- ⑧店の看板やテレビアンテナその他風で飛びやすいものは放置せず、固定するか、屋内に入れましょう。

大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース	検索
------------	----



消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください！

大和郡山市消防団へようこそ	検索
---------------	----



発行人 市役所市民安全課